

## 令和3年度事業報告

世界経済は、各国で新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため行われていた経済活動制限措置が段階的に緩和されてきたのを受け、徐々に持ち直しを見せてきたが、後半は、需給のひっ迫、原材料や人手の不足、価格上昇などが生じ、経済に与える影響について留意が必要な状況となった。

日本経済は、感染防止と経済活動の再開という2つの実現に向けた難しいかじ取りを続ける中、厳しい状況が徐々に緩和されてきたとはいえ、業種によっては厳しい状況が続いた。

そうした状況の中、コロナ禍は一方では、今までの働き方や学びの方法について大きな変化をもたらした。テレワークやオンラインでの会議や授業などに対応するため、デジタル化への動きが活発になった。しかし、世界の先進国と比べ官民のデジタル化の遅れが顕著となったコロナ禍での日本の現状から、ポストコロナの新しい社会を目指すデジタル政策の推進に向け9月にデジタル庁が開庁した。今後急速に進むデジタル化に対応し地域を活性化するチャンスと捉えるべく、当会東部地区と中部地区合同で平井鳥取県知事に地域企業のデジタル化推進を図るための提言を行った。また、コロナ禍で地方への分散や機能移転が進んでいる企業の現状から西部地区ではコワーキングオフィスの活用性など新しい働き方の展望について議論を深めた。

全国サミットや西日本懇談会などの他県で開催された会議は、オンラインやリアルでのハイブリット会議で実施され、コロナ禍に対応しての実施となった。

また、11月に鳥取市で開催する予定であった、「第13回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット」は、再度1年延期の措置となった。

各担当委員会による例会は十分な感染防止対策を取って実施するなか、県外講師によるオンラインでの講演をはじめリアルとオンラインによるハイブリッドでの講演会を開催した。

このように感染防止に留意しながら令和3年度活動方針に沿って各種の活動を展開した。具体的な活動内容は次のとおりである。

具体的な詳細については各地区の総会でも事業報告がされているが、主な内容については次のとおりである。

### 1. 監査会 (4/15)

- ・令和2年度会計監査

### 2. 県幹事会 (6/11)

- ・令和2年度事業報告、決算について

- ・令和3年度事業計画、予算案について
  - ・役員改選
3. 県定時総会（6/11）
- ・令和2年度事業報告、決算について
  - ・令和3年度事業計画、予算案について
  - ・役員選任
4. 正副代表幹事会（3/2）
- ・令和4年度定時総会開催について
  - ・第13回日本海沿岸地域代表幹事サミットについて
  - ・県同友会に対する負担金について
  - ・木材利用推進全国会議「自主宣言」策定について
  - ・全国会議・合同懇談会等開催予定について
5. 例会・委員会・幹事会等（定時総会は各地区とも開催した。）
- ＜東部地区＞
- ・定時総会 1回、正副代表幹事会 3回、正副代表幹事・総務委員長会議（7月以降毎月）、デジタル化特別委員会幹事会 6回、例会 9回、総務委員会 毎月開催、各委員会16回
  - ・各種会議・関係会議多数出席

＊例会（講演）のテーマ

- ・視察「いなば西郷工芸の郷を訪ねて」（4月）
- ・デジタル化特別委員会 スマートシティ講演会（5月）
- ・「翼に代わる新たなANAグループの挑戦！」（7月）
- ・「史跡鳥取城跡の整備計画」について（7月）
- ・「北前船寄港地・船主集落「諸寄港」まち歩き」（8月）
- ・「日本で働いてみて」（9月）
- ・「ローカルスポーツこそが地域創生の鍵を握る！」（10月）
- ・「シリコンバレーで未来のライフスタイルを創造する」～グローバルなスタートアップの起業ストーリー～（10月西部地区例会にオンライン参加）
- ・「そうだ！商業高校に行こう！  
～専門高校に27億円をかけてアップデート～」（11月）
- ・「鳥取県の高校教育の現状」（11月）
- ・「本市の公立学校の児童生徒数の推移及び  
「鳥取市立学校の適正規模・適正配置基本方針」について」（12月）
- ・「鳥取力のかたち」（1月）

＊各委員会の活動

- ・活動方針に基づきキーワードに沿って研究議論、担当例会の打合せ

<中部地区>

- ・定時総会 1回、幹事会 9回、例会 9回（原則毎月第3金曜日）委員会 2回

＊例会テーマ

- ・「大御堂廃寺について」（4月）
- ・現地見学：「小川家庭園 環翠園」（7月）
- ・「鳥取県における Society5.0・DX に向けた取り組み」（8月）
- ・「未来を“つくる”美術館 鳥取県立美術館の整備運営の概要」（9月）
- ・「司法書士から見た民法・不動産登記法の改正」（10月）
- ・「六根清浄と六感治癒の地  
～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～」(12月)
- ・「倉吉の今後について」（1月）
- ・「デジタルの力でもっとアナログを」（2月）
- ・「電子帳簿保存法、消費税改正について」（3月）

<西部地区>

定時総会 1回、幹事会 1回、監査会 1回、懇談会 3回、例会 7回、  
総務委員会 9回、総務委員会総務正副委員長会議 9回、  
委員会・特別委員会 20回、視察会・研修会 3回、  
その他出席諸会議（協賛、後援含む）等 26回

＊例会（講演）内容（テーマ）

- ・「地域の未来 学ぶ・考える！カードゲーム『SDGs de 地方創生』」（10月）
- ・「シリコンバレーで未来のライフスタイルを創造する  
～グローバルなスタートアップの起業ストーリー～」(10月)
- ・「サステナブルな社会の実現に向けて～みんなのお金で未来をつくる～」(11月)
- ・「若者の人口流出について～今どきの進路指導等の実態と期待～」、「今後の連携について～『してもらいたいこと』と『できること』～」(12月)
- ・「社会人入社 5 年目までに必要なことは、みんな学校で教わった」、「人生の岐路に立つ皆さんへ」、「社会人として求められる能力とは」(2月)
- ・「山陰地方におけるインバウンド観光復興に向けたご提案  
～海外の若者と日本人の若者の視点から～」(3月)
- ・「鳥取県の企業誘致施策」、「地域を超えた働き方」、  
「地域発でどう事業を生み出していくか？」(3月)

## 6. 全国の経済同友会との交流

- ・第33回全国経済同友会セミナー（R3.4.8 東京都）

【テーマ】 新しい日本の再設計～コロナショックを新日本創造の契機に～

- ・全国経済同友会東日本大震災追悼シンポジウム（R3.7.4 仙台市）
- ・第7回西日本経済同友会代表者会議（R3.7.6 オンライン）
- ・2021年全国経済同友会事務局長会議（R3.8.26 オンライン）
- ・2021年全国経済同友会代表幹事円卓会議（書面審議）
- ・西日本経済同友会代表幹事会（R3.10.15 京都市）
- ・第118回西日本経済同友会会員合同懇談会（R3.10.15 京都市）
- ・第28回鳥取県・岡山経済同友会合同懇談会（R3.11.10 真庭市）

【見学】 GREENable HIRUZEN「風の葉」 隈研吾デザイン監修のCLTパビリオン

【懇談会】 活動状況報告

岡山：提言書「地域全体で取り組むSDGs先進県へ」

SDGs研究・推進会議座長 藤木 茂彦 氏

鳥取県：①「CLTを活用した日ノ丸産業本社建設」

東部地区副代表幹事 霜村 将博 氏

②「西郷工芸の郷」

東部地区代表幹事 米原 正明 氏

③「鳥取県経済同友会中部地区近況報告」

中部地区副代表幹事 廣田 和幸 氏

④「ふるさと教育読本発行及び最近の活動について」

西部地区代表幹事 松村 順史 氏

- ・第13回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット

(R3.11.25～26 鳥取市) 1年延期

- ・中国5県経済同友会代表幹事と(公社)経済同友会幹部との意見交換会

(R4.2.21広島市) 延期

- ・西日本経済同友会事務局長会議（R4.3.24 オンライン）

- ・第48回鳥取県・島根経済同友会合同懇談会（R4.3.30 松江市）

【講演】 演題：「アフターコロナの観光～DMOの視点から～」

講師：(一社)山陰インバウンド機構 代表理事 福井 善朗 氏

【パネルディスカッション】

パネリスト：(一社)山陰インバウンド機構 代表理事 福井 善朗 氏

(一社)中海・宍道湖・大山圏域観光局 代表理事 矢野 正紀 氏

(大)島根大学 法文学部 教授 飯野 公央 氏

(有)出雲観光タクシー 代表取締役 渡部 稔 氏

(株)バイタルリード 代表取締役 森山 昌幸 氏

コーディネーター：(株)日本政策投資銀行 松江事務所長 加藤 隆宏

7. その他の会議への参加、出席等

- ・（公社）とっとり被害者支援センター理事会・総会
- ・連合鳥取との意見交換会
- ・鳥取県産業教育振興会理事会
- ・鳥取県サイバーセキュリティー対策ネットワーク総会
- ・米子空港利用促進懇話会総会
- ・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議研修会
- ・鳥取県金融経済懇談会
- など

＊令和3年度版写真入会員名簿の作成

＊機関紙「経済同友」を全員に配布

＊その他経済同友会の関連の団体組織が主催する会議への出席参加等